大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F114310104801	設置等組織名	芸術工学部（芸術工学科）
大学名	昭和音楽大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	神奈川	事業計画名	昭和音楽大学　学部の新設

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	1-①令和5年9月　新設学部設置準備室を設けて、~~専任の事務職員及び兼務の教職員を配置~~兼務職員を配置（令和6年3月に専任教員を配置）（R6.3.29承認） 1-②芸術工学部芸術工学科デジタルエンタテインメントコース及びデジタルコンテンツ構想コースの設置構想を開始 1-③令和5年10月～令和6年3月　芸術工学部の卒業生の人材需要に関しての調査・分析を実施 1-④令和5年10月～令和6年3月　芸術工学部への入学に関しての関心がどの程度あるか予備的な調査・分析を実施	1-①令和5年9月　新設学部設置準備室を設けて、兼務職員を配置（令和6年3月に専任教員を配置） 1-②芸術工学部芸術工学科デジタルエンタテインメントコース及びデジタルコンテンツ構想コースの設置構想を開始 1-③令和5年10月～令和6年3月　芸術工学部の卒業生の人材需要に関しての調査を実施 1-④令和5年10月～令和6年3月　芸術工学部への入学に関しての関心がどの程度あるか予備的な調査・分析を実施	令和5年度自己評価：【２】計画を十分には実施していない。 職員配置については、人選が難航したことで、当該取組を実施する職員の適切な配置が令和5年度にできなかった。令和6年度の上半期中に、専任の事務職員を2名体制とする予定である（R6.3.29承認）。 卒業生の人材需要に関しての企業向けの調査については、人員不足のためアンケート調査の実施にとどまった。分析は、令和6年度に実施する。
令和6年度	1-③令和5年10月～令和6年~~7月3月~~　芸術工学部の卒業生の人材需要に関しての調査・分析を実施（R7.3.28承認） 1-⑤令和~~7年6月~~4月～令和7年10月　芸術工学部に充分な入学者を確保できるか調査・分析を実施（R7.3.28承認）	1-③令和5年10月～令和6年　7月　芸術工学部の卒業生の人材需要に関しての調査・分析を実施 1-⑤令和7年　4月～令和7年10月　芸術工学部に充分な入学者を確保できるか調査・分析を実施	令和6年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	1-⑥　令和7年10月～令和8年　3月　設置認可申請準備 1-⑦　令和8年　3月　芸術工学部設置認可申請 2前-①令和7年　8月～令和8年　1月　~~北校舎2階、3階~~南校舎地下1階、1階等校舎改装及び建築計画策定（R8.3.11承認） 2前-②令和~~7年11月8年4月~~～令和~~9年3月8年12月~~　~~北校舎2階、3階~~南校舎地下1階、1階等校舎改装実施（R8.3.11承認） 2前-③令和6年12月～令和7年~~10月7月~~　実習棟~~増築建築~~にかかる基本設計及び実施設計を行う（R8.3.11承認） 2前-④令和7年~~11月8月~~～令和~~9年3月8年12月~~　実習棟建設（R8.3.11承認）	1-⑥　令和7年10月～令和8年　3月　設置認可申請準備 1-⑦　令和8年　3月　芸術工学部設置認可申請 2前-①令和7年　8月～令和8年　1月　南校舎地下1階、1階等校舎改装及び建築計画策定 2前-②令和7年11月～令和9年　3月　南校舎地下1階、1階等校舎改装実施 2前-③令和6年12月～令和7年10月　実習棟増築にかかる基本設計及び実施設計を行う 2前-④令和7年11月～令和9年　3月　実習棟建設	令和7年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	2-②令和~~7年11月8年4月~~～令和~~9年3月8年12月~~　~~北校舎2階、3階~~南校舎地下1階、1階等校舎改装実施（R8.3.11承認） 2-④令和7年~~11月8月~~～令和~~9年3月8年12月~~　実習棟建設（R8.3.11承認） 2-⑤令和8年11月~~12月~~～令和9年~~3月2月~~　電子機器等備品の備え付けを行う（R8.3.11承認）		令和8年度自己評価：リストから選択してください。
令和9年度	3-①令和9年4月　芸術工学部開設と同時に設置認可申請時における「設置の主旨」等の内容を着実に履行するために、新設学部の質保証担当の事務職員を配置する 3-②令和9年4月～令和13年3月　同学部全学生とすべての授業を対象にアンケートを行い学生の学校に対する総合的な満足度の把握、さらに授業の満足度と学修の進捗を確認する 3-③令和9年4月～令和13年3月　同学部の人材需要が見込まれる企業を中心とした有識者へのヒアリングとアンケートを実施する 3-④令和9年4月～令和13年3月　調査分析をもとにシラバスの運用や学修支援体制の見直しを図りAC期間においてもディプロマポリシーの達成に資する取り組みを深化させる 3-⑤令和9年4月～令和13年3月　質保証の取り組みを広く公開し将来の入学者の確保に向けて積極的な広報を行う		令和9年度自己評価：リストから選択してください。
令和10年度	3-②令和9年4月～令和13年3月　同学部全学生とすべての授業を対象にアンケートを行い学生の学校に対する総合的な満足度の把握、さらに授業の満足度と学修の進捗を確認する 3-③令和9年4月～令和13年3月　同学部の人材需要が見込まれる企業を中心とした有識者へのヒアリングとアンケートを実施する 3-④令和9年4月～令和13年3月　調査分析をもとにシラバスの運用や学修支援体制の見直しを図りAC期間においてもディプロマポリシーの達成に資する取り組みを深化させる 3-⑤令和9年4月～令和13年3月　質保証の取り組みを広く公開し将来の入学者の確保に向けて積極的な広報を行う		令和10年度自己評価：リストから選択してください。
令和11年度	3-②令和9年4月～令和13年3月　同学部全学生とすべての授業を対象にアンケートを行い学生の学校に対する総合的な満足度の把握、さらに授業の満足度と学修の進捗を確認する 3-③令和9年4月～令和13年3月　同学部の人材需要が見込まれる企業を中心とした有識者へのヒアリングとアンケートを実施する 3-④令和9年4月～令和13年3月　調査分析をもとにシラバスの運用や学修支援体制の見直しを図りAC期間においてもディプロマポリシーの達成に資する取り組みを深化させる 3-⑤令和9年4月～令和13年3月　質保証の取り組みを広く公開し将来の入学者の確保に向けて積極的な広報を行う		令和11年度自己評価：リストから選択してください。
令和12年度	3-②令和9年4月～令和13年3月　同学部全学生とすべての授業を対象にアンケートを行い学生の学校に対する総合的な満足度の把握、さらに授業の満足度と学修の進捗を確認する 3-③令和9年4月～令和13年3月　同学部の人材需要が見込まれる企業を中心とした有識者へのヒアリングとアンケートを実施する 3-④令和9年4月～令和13年3月　調査分析をもとにシラバスの運用や学修支援体制の見直しを図りAC期間においてもディプロマポリシーの達成に資する取り組みを深化させる 3-⑤令和9年4月～令和13年3月　質保証の取り組みを広く公開し将来の入学者の確保に向けて積極的な広報を行う 3-⑥令和9年4月～令和13年3月までの芸術工学部の取り組み内容について点検評価を行う 3-⑦令和12年4月～令和13年3月　点検評価の内容をもってJABEE認定（日本技術者教育認定機構）を受けて国際的な質保証体制の確立を行う		令和12年度自己評価：リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価：リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価：リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和8年3月　芸術工学部芸術工学科　設置認可申請予定 令和8年3月　収容定員の総数の増加　認可申請予定	令和8年3月　芸術工学部芸術工学科　設置認可申請 令和8年3月　収容定員の総数の増加　認可申請	
定員減又は 学部等の廃止	特になし		

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	昭和音楽大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。☐

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通した教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
■ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
芸術工学部において、「音響工学概論（仮称）」を開設する予定である。この科目の実施にあたり、フェーズ１期間中に神奈川県厚木市に音響実験施設を持つ株式会社フジタと協議を行う。また、フェーズ１期間中に川崎市内のマイコンシティ等の企業にアンケートの実施を行い、PBL科目の開設の準備を行う。またデジタルコンテンツの生理的影響を扱う科目の設置を行うために、これまでに人的交流がある、東京工業大学等と協議を行う予定である。さらにデジタルコンテンツ関連分野の高等教育を行っている、海外の教育機関であるリーズ音楽大学（イギリス）、マネス音楽大学（アメリカ）等と芸術工学部の学生を対象とした留学プログラムの実施について協議を行う予定である。リーズ音楽院に関してはすでに音楽学部において短期留学プログラムを行った実績があるが、フェーズ１においてはさらに連携を強化することを含めて検討を行う予定である。	令和6年度に引き続き、マイコンシティの1つである伸和コントロールズ株式会社とPBLの連携協議を行った。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
■ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
入学者選抜においてはデジタルコンテンツの社会実装にリーダーシップを発揮する期待ができる人材の確保をする観点から、本人の意欲を確認して、将来像を描くためのビジョンに関するプレゼンテーションを含めた面接を行う。入学選抜においては一般選抜において数学を必須とし、情報を選抜科目に加える。本学音楽学部は現状において学生数全体の70.5%（2023年5月1日現在）が女子学生であり、女性をターゲットとした広報を行っているが、芸術工学部の入学者確保に向けて神奈川県内・東京都の女子高等学校の全校を訪問する。高大連携協定校や川崎市教育委員会との連携を活かして、出張授業を積極的に行う予定である。社会人学生の受け入れのために社会人選抜を行う。リカレントやリスキリングに係る高等教育機関を積極的に紹介しているメディアにおいて広報を行う。留学生の受け入れ強化に向けて、日本国内において外国人に対して大学受験の予備教育を行う学校に向けた訪問活動を積極的に行う。	令和7年度に入学者選抜における科目の見直しを行った。令和8年度に、リカレントやリスキリングに係る高等教育機関を積極的に紹介しているメディアにおける広報、神奈川県内・東京都の高等学校訪問、高大連携協定校や川崎市教育委員会との連携を活かした出張授業を実施する予定である。令和7年度は、留学生の受け入れ強化に向けて、日本国内において外国人に対して大学受験の予備教育を行う学校に向けた訪問活動を積極的に行った。	

大学名	昭和音楽大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	学部の新設
学部学科名	芸術工学部芸術工学科（工学関係）

大区分	小区分	項目	単位	年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
				改組状況	選定																		
	事業計画に定める定員	入学定員	人		-	-	-	-	100														
		編入学定員	人		-	-	-	-															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人		-	-	-	-															
		入学者数	人		-	-	-	-															
		女子学生数	人		-	-	-	-															
		社会人学生数	人		-	-	-	-															
		留学生数	人		-	-	-	-															
	その他の学期	入学定員	人		-	-	-	-															
		入学者数	人		-	-	-	-															
		女子学生数	人		-	-	-	-															
		社会人学生数	人		-	-	-	-															
		留学生数	人		-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人		-	-	-	-															
		入学者数(B)	人		-	-	-	-															
		女子学生数	人		-	-	-	-															
		社会人学生数	人		-	-	-	-															
		留学生数	人		-	-	-	-															
		入学定員充足率（B/A）	倍		-	-	-	-															
	収容定員等	収容定員(C)	人		-	-	-	-															
		編入学定員	人		-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人		-	-	-	-															
		編入学者数	人		-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍		-	-	-	-															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人		-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人		-	-	-	-															
		授業科目の単位数	単位		-	-	-	-															

大学名	昭和音楽大学

2.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	-															
		入学者数(B)	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	-															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	-															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	-															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	-															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	-															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	-															

大学名	昭和音楽大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	285	300	300	300															
		入学者数	人	292	290	324	310															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	285	300	300	300															
		入学者数(B)	人	292	290	324	310															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.02	0.97	1.08	1.03															
	収容定員等	収容定員(C)	人	1180	1195	1210	1225															
		編入学定員	人	20	20	20	20															
		在籍者数(D)	人	1266	1178	1182	1229															
		編入学者数	人	23	15	22	16															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.07	0.99	0.98	1.00															

４.外部資金の状況（全学）

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況	申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	選定		申請											
項目 / 単位																			
外部資金獲得額 / 千円	7,150	7,930	16,707	15,455	12,665	13,607	29,419	5,032											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金	千円	12,017
本事業による助成金の額(F)	千円	819,756
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	32,511

特記事項